

パラグアイ内政・外交報告（8月分）  
政治情勢

2017年9月作成

1 内政

（1）小農の債務帳消し法案を巡る動き

ア 2日、7月27日に上院を通過していた小農の債務帳消し法案（30ヘクタール以下の農地を持つ小農に対する債務返済に充当するための給付金に関する法律）が下院を通過した。

イ 4日、カルテス大統領は、小農の債務帳消し法案への拒否権を行使し、同法案は議会に差し戻された。

（2）イタプア県知事の交代

15日、辞意を表明していたナイティン イタプア県知事が正式に辞任し、翌16日にフェデリコ・ベルガラ県議会議員（コロラド党）が県議会議員の互選により新知事に就任した。ナイティン前知事は、コロラド党主流派の副大統領候補として党内予備選に出馬するため、今後は選挙活動に専念することになる。

（3）CIES社による世論調査

27～31日にかけて、ウルティマ・オラ紙にCIES社による世論調査結果が掲載された。各党の党内予備選に参加する次期大統領候補に関して、与党コロラド党では61.4%の支持を得た反主流派のアブド・ベニテス上院議員が37.9%のペーニャ前財相をリードしている。また、第一野党のリベラル党では、アレグレ党首が77.7%の支持を集めて2位のバルメリ元上院議員を引き離している。

2 外交

（1）パラグアイ伯首脳会談

21日、カルテス大統領は、伯大統領宮においてテメル大統領と首脳会談を実施した。首脳会談の後、ロイサガ外相、ロペス・モレイラ官房長官等を含む両国の閣僚が参加し、拡大会合が実施された。その後、メルコスールを含む経済関係、インフラ整備、イタプア条約、ベネズエラ情勢等に関する内容を含む36項目からなる共同声明が発出された。

（2）メルコスール外相会合

5日、ロイサガ外相は伯サンパウロで開催されたメルコスール外相会合に参加した。同会合の結果、ベネズエラのメルコスール資格停止が正式に決定された。

（3）ベネズエラ情勢に関する外相会合

ア 8日、ロイサガ外相は、ペルー政府の呼びかけによりリマで開催されたベネズエラ情勢に関する米州地域の緊急外相会合に出席した。同会合には計17カ国が参加し、ベネズエラにおける民主主義秩序の断絶を非難する「リマ宣言」が採択された。

イ 7日、ロイサガ外相はペルー訪問の機会にルナ同国外相と会談した。ロイサガ外相はルナ外相に対して、メルコスールによるベネズエラの資格停止の決定を伝えた他、二

国間のテーマについても意見を交わした。

### **3 要人往来**

#### (1) 往訪

- レイテ商工相, 伯訪問 (経済ミッション)
- ロイサガ外相, 伯訪問 (メルコスール外相会合)
- ロイサガ外相, ペルー訪問 (ベネズエラ情勢に関する外相会合)
- カルテス大統領 (ロイサガ外相, レイテ商工相, ヒメネス・ガオナ公共事業相同行), 伯訪問 (首脳会談)
- バルハ農牧相, 亜訪問